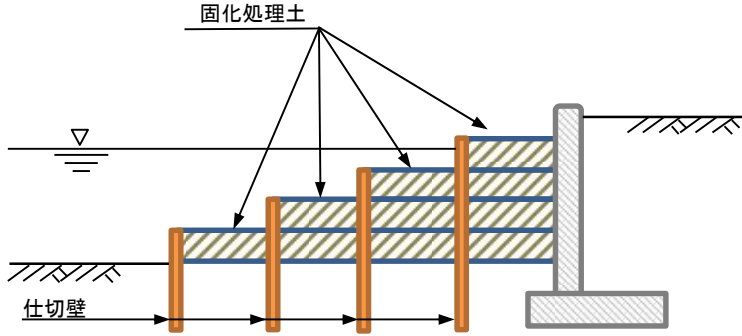
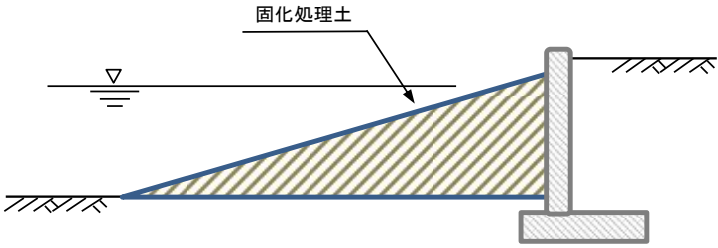


## 浚渫土処理・有効活用技術

技術分類	分級・安定処理・有害物質除去・ <b>その他</b>
技術の名称	傾斜堤の構築方法
実用化の状況	<b>技術開発中</b> ・実証試験中・実用化済み
技術の概要	<p>この技術は、複数の仕切壁を所定の間隔をあけて岸から遠くなるに従って次第に低くなるように設置した後、固化処理した浚渫土を流し込み層状に積み重ねて階段上の傾斜堤を構築し、固化処理土が固化した後に仕切壁を撤去して傾斜堤を構築するものである。階段上に構築した傾斜堤上には石材等を配置し干潟や藻場を造成し海域環境の改善を図ることができる。</p> <div style="text-align: center;">  <p>仕切壁を使用した傾斜堤</p> </div>
特長・メリット	<div style="text-align: center;">  <p>従来の固化処理土による傾斜堤</p> </div> <p>(1) 固化処理した浚渫土を養生無しに施工できる</p> <p>従来の方法では、法面勾配の形成や流出の防止を図るため固化処理土が所定の強度になるまで別の場所で養生しなければならず、養生期間および養生する用地が必要となる。</p> <p>(2) 任意の勾配を設定できる</p> <p>仕切壁を使用した傾斜堤は、階段部分の高さおよび奥行を自由に設定できるため、任意の傾斜角を有する傾斜堤を構築することができる。また、仕切壁は強度発現前の固化処理土が波に洗われるのを防止する効果がある。なお、設置した仕切壁は固化処理土が固化した後に撤去して再利用することができる。</p>

留意点・課題	固化処理土を仕切壁内に流し込む際は、仕切壁の倒壊を防ぐために固化処理土の流し込み高さに注意する必要がある。
特許等	特許 : 第 4927355 号
関連する資料	
適用実績（事例） の概要	事例無し
問い合わせ先	株式会社不動テトラ 土木事業本部技術部 東京都中央区日本橋小網町 7-2 TEL:03-5644-8524 <a href="mailto:shinji.yamazaki@fudotetra.co.jp">shinji.yamazaki@fudotetra.co.jp</a>